

PRECISION IN EVERY DETAIL

FXJ-12W

中国国家規格法対応 COD 還流分解装置

水試料分析のためのバッチ還流分解。

**12**

試料位置数

PID

タイマー付き温度制御

2000 W

加熱電力

専門分析装置から、実験室全体のソリューションへ。

製品カタログ・V0.0.7

01

PRODUCT ADVANTAGES

加熱から凝縮までを、連続した工程に。

製品紹介

ガラスセラミック加熱板とマイコン制御により、HJ828-2017 のニクロム酸法の基本原理に対応します。穏やかな沸騰状態で2時間の還流分解を行い、試薬の調製および使用量は引用された方法に従います。

01

構造と同時加熱

筐体、ガラスセラミック加熱板、三角フラスコ・還流冷却管の組み合わせ、冷却ファンで構成されます。マイコン PID による時間・温度制御で12組を同時加熱します。

02

ガラスセラミック加熱板

輸入ガラスセラミック板は最高800°Cに耐え、均一な熱分布と迅速な昇温・冷却に対応します。高温用セラミックファイバー発熱体により熱損失の低減を図ります。

03

清掃と保守

平滑なパネルは湿らせた布で清掃でき、試薬や取り扱い時の衝撃による損傷を抑えます。

04

還流と凝縮

ガラス製還流冷却管の上部球状部は、触媒の添加と揮発性軽質成分の抑制に用いられます。下部の凹凸構造は凝縮を促進します。

05

空冷

従来の水道水冷却に代わって空冷を採用し、内蔵ファンと併用して還流性能と試料間の再現性を支えます。

06

自動停止と冷却補助

分解終了後に加熱を自動停止し、ファンは120分間継続して試料の冷却を補助します。

07

分析方法と測定範囲への対応

試薬調製、操作、COD 計算は、原資料が引用する HJ828-2017 に従います。COD < 50 mg/L では滴定液と酸化剤を希釈できます。COD > 700 mg/L の水試料は、測定前に比例希釈する必要があります。

02

PRODUCT VIEWS

装置全体とガラス製還流部品。



原カタログの正面図



原カタログの別角度図

構成部品

ガラスセラミック板、三角フラスコ、還流冷却管、筐体、冷却ファンが分解システムを構成します。外観と構成は、対応する原資料の画像および仕様で確認してください。

03

FULL SPECIFICATIONS

分解構成と技術仕様。

項目	数値と条件
試料容量	12位置、250 ml三角フラスコ12本、24#すり合わせ接続
測定範囲	10-700 mg/L。試料希釈後は700-10000 mg/L
測定時間	10分-2時間
測定誤差：標準液	フタル酸水素カリウム標準液500 mg/L、相対標準偏差 $\leq \pm 5.0\%$
測定誤差：工業排水	工業有機排水500 mg/L、相対標準偏差 $\leq \pm 8.0\%$
温度制御範囲	室温-300°C。パネル温度のリアルタイムデジタル表示と設定調整
タイマー範囲	5-150 min、リアルタイムデジタル表示と設定調整
周囲温度	-20-55°C
周囲湿度	$\leq 85\%$ RH、結露なし
電源	AC 220 V / 50 Hz
加熱電力	2000 W
寸法	440 × 350 × 590 mm。還流管を含む高さ765 mm
質量	17.5 kg

04

APPLICATIONS & METHOD

各種水試料の COD 前処理に。

地表水

生活排水

工業排水

環境保護

研究

製紙

石油化学

冶金

捺染・染色



原カタログ掲載の環境用途イメージ

原資料が引用する規格

HJ828-2017：水質—化学的酸素要求量の測定—二クロム酸法。

適用範囲

本装置は COD 分析用試料の分解処理を行います。試料希釈、試薬、測定値の計算は、選択した分析方法に従ってください。

仕様、外観、構成は原資料から整理しています。案件の検収時には、実際の納入内容と分析方法の要件を確認してください。